

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		ふれあい生きいきサロン事業						事業区分		担当	
政策体系上の位置付け								新規/継続	継続	事務事業No.	020602000010
								単独/補助	補助	所属課	040501
政策体系	総合計画の施策名	0206	高齢者福祉の推進				主要事業	対象外	グループ		高齢福祉課
	政策名	02	安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				市長マニフェスト	対象外		高齢福祉グループ	
	施策名	06	高齢者福祉の推進				未来PJ事業	対象外			
	基本事業名	02	高齢者福祉サービスの充実				合併建設計画事業	対象外			
財務会計上の位置付け								事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	介護保険特別会計				
	06	05	01	02	01	00	介護予防一般高齢者施策事業				
法令根拠	単年度繰返し（年度～）										
↳ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入											

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 地域の公民館や集会場を利用し、ボランティア (シルバーリハビリ体操指導士、看護師) 等の協力を得ながら健康体操の指導や健康相談等を実施し、閉じこもり防止、介護予防に寄与する。事業の実施については、桜川市社会福祉協議会に委託している。岩瀬/大和地区の一部のサロンで保育所と幼稚園の園児との交流会を行った。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の内容】 委託契約事務、月次実績報告受付、支払事務、新規実施地区との協議、事業内容の検討

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
委託契約事務、月次実績報告受付、支払事務、新規実施地区との協議、事業内容の検討		生きいきサロンの開催数	回	234.00	224.00	250.00	260.00	270.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
65歳以上の高齢者		高齢者人口 (65歳以上)	人	12,188.00	12,757.00	12,800.00	13,000.00	13,100.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
閉じこもり防止と健康増進を図る。		生きいきサロンの延べ参加者数	人	3,207.00	3,299.00	3,300.00	3,400.00	3,500.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,362	1,345	1,500	1,500	1,500	0
			県支出金	千円	681	672	750	750	750	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	3,000	3,000	3,000	0
			その他	千円	2,725	2,693	0	0	0	0
			一般財源	千円	681	672	750	750	750	0
	事業費計（A）			千円	5,449	5,382	6,000	6,000	6,000	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人		
		述べ業務時間	時間	60.00	60.00	50.00	50.00	50.00		
		人件費計（B）	千円	174	174	145	145	145		
トータルコスト(A)+(B)			千円	5,623	5,556	6,145	6,145	6,145		

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
	13 委託料	5,382			13 委託料	6,000		
		合 計	5,382		合 計	6,000		

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業				

事務事業名	ふれあい生きいきサロン事業	事務事業No.	20602000010	所属課	高齢福祉課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
家に閉じこもりがちな高齢者、要介護状態になる恐れのある高齢者等に対し、介護予防を目的に平成15年から開始した。平成21年度から岩瀬地区で2会場が開設、真壁地区においても4会場で開始した。平成23年度はさらに真壁地区で1会場が開始した。平成26年度には参加者の減少により岩瀬地区で1地区が休止となってしまった。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
開催日を楽しみにしている。各地区集会場等身近な場所でおこなっているので行きやすい。（利用者）	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 閉じこもり防止、生きがいづくりに寄与し高齢者福祉の向上に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 介護予防に寄与し、地域社会で自立した生活が送ることができるようにすることは、市の高齢者福祉の目標となっている。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 岩瀬地区・大和地区・真壁地区で実施されているが、参加人数が減少している会場があるので新規参加者を増やすことで事業の成果の向上余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者福祉の衰退につながるので廃止できない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がない
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ボランティアの協力等を得ながら行っている事業であり、削減余地がない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地区の公民館で開催し、高齢者なら誰でも参加できるので公平・公正である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	岩瀬・大和・真壁地区で家に閉じこもりがちで要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、介護予防のために地区の公民館を利用し行っているため参加しやすい。参加者の話を聞き、事業内容の充実にも努めた。岩瀬地区の一部サロンで幼稚園児との交流会を行った。高齢者に園児が歌や劇を披露したり、園児とのふれあい等をし有意義な交流会を行った。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 この事業は、介護予防に大きな役割を果たしており、さらに充実させていかなければなりません。しかし、参加者数の減少と開催地区がほぼ横ばい状態にあり、今後は参加者のニーズに合わせた事業内容や地域に働きかけて開催場所の拡大や参加者の増加に努める。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果		①																						
コスト削減優先度評価結果		⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>